

# 募集

## 大地沢青少年センター 臨時職員

☑️野外活動等に興味のある方＝若干名  
**勤務期間**6月1日～10月31日(更新の場合も有り)  
**勤務時間**午前8時30分～午後5時、月1日～11日以内で月ごとに相談、主に土・日曜日、祝休日、夏季期間  
**内**主催事業・施設管理・事務の補助等  
**報酬**時給990円(別途交通費支給)  
 ※詳細は町田市ホームページをご覧ください。  
**選考**書類、面接(書類合格者のみ)  
**申**履歴書(写真貼付、志望動機明記)を4月18日まで(必着)に、直接または郵送で大地沢青少年センター(〒194-0211、相原町5307-2)へ。  
 ※履歴書は返却しません。  
**問**同センター☎782・3800

## 町田市街づくり審査会 市民委員

町田市街づくり審査会委員の任期満了に伴い、市民委員を募集します。  
 ☑️市内在住の20歳以上で、市の他の

審議会等の委員と重複していない方＝4人  
**任期**6月1日～2020年5月31日  
**選考**書類選考のうえ、対象者のみ面接(5月10日予定)  
**申**申込書と論文(テーマ=近年、自治会・町内会の加入率低下や役員の担い手不足、近所付き合いの希薄化、地域活動への参加者の高齢化など地域コミュニティが希薄になってきています。そのため、「地域のお祭りの開催がむずかしい」、「安心して外で子どもを遊ばせられない」、「昔開催していた地域の運動会がなくなってしまった」などの地域の声も聞かれます。そこで、あなたの住む地域で、みんなが楽しく参加できると思う地域の活動やイベントを提案して下さい。また、どうすれば幅広い世代の住民がその活動に参加し、人の輪が広がると考えますか。1200字以内)を4月16日まで(消印有効)に、直接または郵送で地区街づくり課(市庁舎8階)へ。  
 ※結果は応募者全員にお知らせします。応募論文は返却しません。  
 ※募集要項、申込書等は町田市ホームページでダウンロードできます。郵送希望者は、地区街づくり課へご

連絡下さい。  
**問**地区街づくり課☎724・4267  
**病児施設職員(保育士)**  
 詳細は病児保育室へお問い合わせ下さい。  
 ☑️有資格者  
 ○はやしクリニック病児保育室(☎793・3722)＝保育士(パート)  
**問**子育て推進課☎724・4468

# お知らせ

## 募集します 町田市トライアル発注認定商品

市では、市内事業者が開発する新規性の高い優れた商品の販路拡大を支援するため、「町田市トライアル発注認定制度」により、一定の基準を満たした商品及び開発者を認定しています。  
 認定商品は、市が作成する「認定商品カタログ」や本紙、町田市ホームページ等に掲載します。また、認定期間内は市の中小企業融資制度やものづくり支援補助金でも優遇を受けることができます。  
 これまでに20事業者24商品が認定を受け、市内外のイベント等にて一体的なPRを広く実施しています。

☑️新規性の高い優れた新商品、及びそれを生産する中小事業者(市内に住民登録を有する個人、または市内を納税地とする法人で、1年以上事業を営んでおり、市税を完納していること)  
**認定基準**商品が次のすべての要件を満たすこと ①申請時点で、販売開始から5年以内である②既存の商品とは別個の範疇に属するものであるか、同一の範疇に属しても著しく異なる使用価値を有するため、実質的に別個の範疇に属すると認められる③技術の高度化、経営効率の向上、市民生活の利便の増進に寄与すると認められる④生産方法、必要な資金額、資金調達方法が、事業者の新たな事業分野開拓のために適切なものである  
 ※食品並びに医薬品、医薬部外品及び化粧品を除きます。

**認定期間**認定された日から2021年3月31日まで  
**審査方法**専門機関による書類審査後、「町田市トライアル発注認定制度選考懇談会」で学識経験者等による意見聴取(事業者プレゼンテーション有り)  
**申**申請書に必要書類を添えて、4月2日～5月11日(必着)に、直接または郵送で産業政策課(市庁舎9階)へ。  
 ※詳細は町田市ホームページをご覧ください。  
**問**産業政策課☎724・2129

## (第2回変更) 社会資本総合整備計画 及び都市再生整備計画

**【南町田拠点創出まちづくりプロジェクト】**  
 市では、新たなにぎわいと交流を創出する拠点形成を目指して、南町田拠点創出まちづくりプロジェクトを進めており、同プロジェクトの事業実施にあたり、国の社会資本整備総合交付金制度を活用しています。  
 この度、2016年に当初策定し、

2017年に第1回変更した、社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画について、2018年度から開始予定の鶴間公園整備事業の位置付けなどに関して変更を行いました。  
 ※変更の詳細は、町田市ホームページをご覧ください。  
**問**都市政策課☎724・4248

## 募集します 2018年度介護保険施設 等整備運営候補事業者

第7期町田市介護保険事業計画に基づき、2018年度介護保険施設等整備運営候補事業者の募集を行います。募集地区、募集概要等詳細は、町田市ホームページをご覧ください。  
**問**いきいき総務課☎724・3291

## 【南の玄関口のまちづくり】 JR町田駅南地区まちづくり 整備方針を策定しました

市では、2016年7月に「町田市中心市街地まちづくり計画」を策定し、中心市街地である町田駅周辺の新たなまちづくりに向けて再スタートしました。  
 この計画に掲げる10のプロジェクトの1つで、JR町田駅南側から多くの人にまちなかを訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセス強化に取り組む「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」を推進する「JR町田駅南地区まちづくり整備方針」を策定しました。

**【まちづくりの構想】**  
 ○**コンセプト** 「南の玄関口のまちづくり」をコンセプトとし、まちなかを訪れ、楽しみ、活動する人と、駅周辺で暮らし、住み続ける人を増やす  
 ○**方針1** 「南の玄関口」にふさわしい拠点づくり  
 ○**方針2** まちなかへのアクセス強化  
 ○**方針3** 駅前の利便性の向上と快適な居住環境の形成  
 ※整備方針の詳細は、町田市ホームページをご覧ください。  
**問**地区街づくり課☎724・4026

## 議長に若林章喜氏、 副議長に佐藤和彦氏が就任

町田市議会は、3月9日に開催された平成30年第1回市議会定例会で、市議会議長に若林章喜氏(自由民主党会派)を、副議長に佐藤和彦氏(まちだ市民クラブ会派)を選出しました。  
 若林章喜議長は、昭和49年生まれで43歳。市議当選5回。災害対策委員会委員長、決算特別委員会委員長、保健福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員長などを歴任しています。  
 佐藤和彦副議長は、昭和47年生まれで45歳。市議当選3回。町田市都市計画審議会委員、建設常任委員会副委員長、町田市防災会議委員、健康福祉常任委員会委員長などを歴任しています。  
**問**議会事務局☎724・2171



## 公開している会議 傍聴のご案内

会議名	日時	会場	定員	申し込み
町田市交通安全推進協議会定例会	4月5日(木)午前10時から	市庁舎3階第1委員会室	5人(申し込み順)	事前に電話またはFAXで市民生活安全課(☎724・4003 FAX050・3160・8039)へ
町田市情報公開・個人情報保護運営審議会	4月9日(月)午前10時～正午	市庁舎2階会議室2-2	3人(申し込み順)	事前に電話で市政情報課(☎724・8407)へ
町田市教育委員会定例会	4月13日(金)午前10時から	市庁舎10階会議室10-3～5		会議当日に教育総務課(市庁舎10階、☎724・2172)へ

## みんなでつくる 未来のまち ⑥ 企画政策課☎724・2103

### 建物の長寿命化とは

市では、公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

この取り組みの1つとして、建物の長寿命化があります。建物に不具合が生じてから対応する方法では、建物を長く使うことができません。長寿命化は、建物の部位や設備機器の大規模な修繕や更新等を計画的に行うことにより、これまで以上に長く使えるようにする考え方です。

### ここがポイント!

長寿命化を効果的に取り入れることで、市の財政負担を平準化することができます。どの建物を長寿命化するかを今から整理し、公共施設の老朽化が一斉に訪れる時代に備えていかなければなりません。

### 公共施設の未来を一緒に考えていきましょう。

ご意見は企画政策課(mcity3270@city.machida.tokyo.jp)で受け付けています。

## 4月1日から配信を開始します

### 道路通報アプリ「みちピカ町田くん」

**問**道路管理課☎724・3257

スマートフォンのカメラ・GPS機能を利用し、道路関連の不具合をEメールで通報できる、道路通報アプリ「みちピカ町田くん」の配信を開始しました。本アプリを利用することで、GPS機能を使った場所の特定や案内に従った写真の撮影など、より簡単に通報することができます。  
 アプリは、「Google Play ストア(Android)」または「App Store(iOS)」で検索してダウンロードして下さい。なお、アプリは無料ですが、ダウンロードの通信料は利用者の負担となります。  
 道路の維持・管理は、市民の皆さんや通行者からお寄せいただく貴重な情報にも支えられています。積極的なご利用をお願いします。